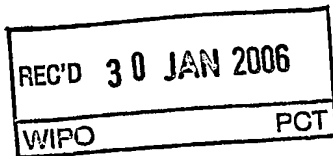


特許協力条約

PCT



特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）

〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 030804PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2004/014486	国際出願日 (日.月.年) 01.10.2004	優先日 (日.月.年) 03.10.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. G11B7/0045 (2006.01), G11B7/007 (2006.01), G11B7/125 (2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) パイオニア株式会社		

- この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 7 ページである。
 - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）
 - ☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☒ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 28.04.2005	国際予備審査報告を作成した日 16.01.2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 五貫 昭一	5D 9368
電話番号 03-3581-1101 内線 3551		

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2005年4月)

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

- ☐ 出願時の国際出願書類
- ☒ 明細書
- 第 _____ 1-30 _____ ページ、出願時に提出されたもの
- 第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
- 第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
- ☒ 請求の範囲
- 第 _____ 2-5, 8-12 _____ 項、出願時に提出されたもの
- 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
- 第 _____ 1, 7, 14 _____ 項*、28.04.2005 付で国際予備審査機関が受理したもの
- 第 _____ 項*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
- ☒ 図面
- 第 _____ 1/8-8/8 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
- 第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
- 第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
- ☐ 配列表又は関連するテーブル
配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☒ 請求の範囲 第 _____ 6, 13 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
- ☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
- ☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	1-5, 7-12, 14	有
	請求の範囲		無
進歩性(IS)	請求の範囲	1-5, 7-12, 14	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-5, 7-12, 14	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 2002-358648 A (松下電器産業株式会社)
2002.12.13
全文, 図1-26

請求の範囲1-5, 7-12, 14に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1に記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

第VI欄 ある種の引用文献

1. ある種の公表された文書 (PCT規則 70.10)

出願番号 特許番号	公知日 (日. 月. 年)	出願日 (日. 月. 年)	優先日 (有効な優先権の主張) (日. 月. 年)
JP 2004-295940 A 「E, X」	21. 10. 2004	25. 03. 2003	

2. 書面による開示以外の開示 (PCT規則 70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付 (日. 月. 年)	書面による開示以外の開示に言及している 書面の日付 (日. 月. 年)
-----------------	------------------------------	--

請求の範囲

- [1] (補正後) ディスク状の情報記録媒体であって、

(I) 記録用のレーザ光を照射することによって該レーザ光の較正用の第1試し書き情報を当該情報記録媒体の内周側から外周側に向かう第1トラックパスに沿って試し書きするための第1試し書き領域及び(I I) 前記レーザ光を照射することによって第1記録情報を前記第1トラックパスに沿って記録するための第1記録領域を、前記内周側からこの順番に有する第1記録層と、

前記レーザ光を照射する側から見て前記第1記録層よりも奥側に位置しており、

(I) 前記レーザ光を照射することによって前記レーザ光の較正用の第2試し書き情報を前記外周側から前記内周側に向かう第2トラックパスに沿って試し書きするための第2試し書き領域及び(I I) 前記レーザ光を照射することによって第2記録情報を前記第2トラックパスに沿って記録するための第2記録領域を、前記内周側からこの順番に有する第2記録層と

を少なくとも備え、

前記第1試し書き領域と前記第2試し書き領域とは、前記情報記録媒体の法線方向から見て前記情報記録媒体の半径方向に相互にずらされているか、又は、前記第1試し書き領域における少なくとも前記第1試し書き情報が書き込まれる領域部分と前記第2試し書き領域における少なくとも前記第2試し書き情報が書き込まれる領域部分とは、前記半径方向に相互にずらされていることを特徴とする情報記録媒体。

- [2] 前記第1記録領域には、前記第1トラックパスに沿って、前記内周側から前記外周側に向かって順次付与されたアドレスを示す第1アドレス情報が予め記録されており、

前記第2記録領域には、前記第2トラックパスに沿って、前記外周側から前記内周側に向かって順次付与されたアドレスを示す第2アドレス情報が予め記録されていることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の情報記録媒体。

- [3] 前記第1試し書き領域は、各回の前記第1試し書き情報を書き込む動作において所定サイズの領域部分が、前記外周側から前記内周側の順に使用され、

前記第2 試し書き領域は、各回の前記第2 試し書き情報を書き込む動作において
所定サイズの領域部分が、前記内周側から前記外周側の順に使用されることを特徴
とする請求の範囲第1 項に記載の情報記録媒体。

- [4] 前記第1 記録層は、前記第1 試し書き領域の前記外周側であり且つ前記第1 記録
領域の前記内周側に、前記第1 記録情報の記録動作及び再生動作のうち少なくとも
一方を制御するための第1 制御情報が記録される第1 制御情報領域を更に有してお

り、

前記第 2 記録層は、前記第 2 試し書き領域の前記外周側であり且つ前記第 2 記録領域の前記内周側に、前記第 2 記録情報の記録動作及び再生動作のうち少なくとも一方を制御するための第 2 制御情報が記録される第 2 制御情報領域を更に有することを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の情報記録媒体。

- [5] 前記第 1 記録層は、前記第 1 試し書き領域の前記外周側に隣接して前記第 1 トラックパスにおけるアドレスを示す第 1 アドレス情報が記録されており、その他の情報が記録されない空き領域を更に有することを特徴とする請求の範囲第 1 項に記載の情報記録媒体。

- [6] (削除)

- [7] (補正後) ディスク状の情報記録媒体であって、記録用のレーザ光を照射することによって当該情報記録媒体の内周側から外周側に向かう第 1 トラックパスに沿って第 1 情報を記録するための第 1 記録層と、前記レーザ光を照射する側から見て前記第 1 記録層よりも奥側に位置しており、前記レーザ光を照射することによって前記外周側から前記内周側に向かう第 2 トラックパスに沿って第 2 情報を記録するための第 2 記録層とを備えた情報記録媒体に、前記第 1 及び第 2 情報を記録するための情報記録装置であって、

前記レーザ光を前記第 1 記録層に集光するように照射することで前記第 1 記録層に対して前記第 1 情報を書き込み、前記レーザ光を前記第 2 記録層に集光するように照射することで前記第 2 記録層に対して前記第 2 情報を書き込むための書込手段と、

前記第 1 記録層に対して、前記第 1 情報の一部として前記レーザ光の校正用の第 1 試し書き情報を試し書きし、前記第 2 記録層に対して、前記第 2 情報の一部として前記レーザ光の校正用の第 2 試し書き情報を試し書きするように前記書込手段を制御

する試し書き制御手段と、

前記試し書き制御手段による前記第1及び第2試し書き情報の試し書き後に、(I)前記第1記録層に対して、前記第1試し書き情報に基づき較正された前記レーザ光によって、前記第1試し書き情報が試し書きされた領域より前記外周側に、前記第1情報の他の一部として第1記録情報を前記第1トラックパスに沿って記録し、(II)前記第2記録層に対して、前記第2試し書き情報に基づき較正された前記レーザ光によって、前記第2試し書き情報が試し書きされた領域より前記外周側に、前記第2情報の他の一部として第2記録情報を前記第2トラックパスに沿って記録するように前記書込手段を制御する記録制御手段と

を少なくとも備え、

前記試し書き制御手段は、前記第1試し書き領域と前記第2試し書き領域とが、前記情報記録媒体の法線方向から見て前記情報記録媒体の半径方向に相互にずらされた領域を使用するように前記書込手段を制御するか、又は、前記第1試し書き領域における少なくとも前記第1試し書き情報が書き込まれる領域部分と前記第2試し書き領域における少なくとも前記第2試し書き情報が書き込まれる領域部分とが、前記半径方向に相互にずらされた領域を使用するように前記書込手段を制御することを特徴とする情報記録装置。

[8] 前記第1記録領域には、前記第1トラックパスに沿って、前記内周側から前記外周

側に向かって順次付与されたアドレスを示す第1アドレス情報が予め記録されており

、

前記第2記録領域には、前記第2トラックパスに沿って、前記外周側から前記内周側に向かって順次付与されたアドレスを示す第2アドレス情報が予め記録されており

、

前記第1及び第2アドレス情報を読み取るアドレス読取手段を更に備えており、

前記記録制御手段は、前記読み取られた第1アドレス情報に従って前記第1記録情報を前記第1トラックパスに沿って記録し、前記読み取られた第2アドレス情報に従って前記第2記録情報を前記第2トラックパスに沿って記録するように前記書込手段を制御することを特徴とする請求の範囲第7項に記載の情報記録装置。

- [9] 前記第 1 記録層は、前記第 1 試し書き領域の前記外周側に隣接して前記第 1 アドレス情報が記録されており且つその他の情報が記録されない空き領域を有し、
前記アドレス読取手段は、前記空き領域にアクセスすることで、前記第 1 アドレス情報を読み取ることの特徴とする請求の範囲第 8 項に記載の情報記録装置。
- [10] 前記第 1 及び第 2 試し書き情報が既に試し書きされた領域を検出する領域検出手段を更に備えており、
前記試し書き制御手段は、前記領域検出手段により検出された領域に応じて各回

の前記第 1 及び第 2 試し書き情報を書き込む際の開始位置を設定するように前記書込手段を制御することを特徴とする請求の範囲第 7 項に記載の情報記録装置。

- [11] 前記試し書き制御手段は、各回の前記第 1 試し書き情報を書き込む動作において所定サイズの領域部分を、前記外周側から前記内周側の順に使用するように前記書込手段を制御し、各回の前記第 2 試し書き情報を書き込む動作において所定サイズの領域部分を、前記内周側から前記外周側の順に使用するように前記書込手段を制御することを特徴とする請求の範囲第 7 項に記載の情報記録装置。
- [12] 前記記録制御手段は、(I) 前記第 1 記録層における、前記第 1 試し書き情報が試し書きされる領域の前記外周側であり且つ前記第 1 記録情報が記録される領域の前記内周側に、前記第 1 記録情報の記録動作及び再生動作のうち少なくとも一方を制御するための第 1 制御情報を記録するように前記書込手段を制御し、(II) 前記第 2 記録層における、前記第 2 試し書き領域の前記外周側であり且つ前記第 2 記録領域の前記内周側に、前記第 2 記録情報の記録動作及び再生動作のうち少なくとも一方を制御するための第 2 制御情報を記録するように前記書込手段を制御することを特徴とする請求の範囲第 7 項に記載の情報記録装置。
- [13] (削除)
- [14] (補正後) ディスク状の情報記録媒体であって、記録用のレーザ光を照射することによって当該情報記録媒体の内周側から外周側に向かう第 1 トラックパスに沿って第 1 情報を記録するための第 1 記録層と、前記レーザ光を照射する側から見て前記第 1 記録層よりも奥側に位置しており、前記レーザ光を照射することによって前記外周側から前記内周側に向かう第 2 トラックパスに沿って第 2 情報を記録するための第 2 記録層とを備えた情報記録媒体に、前記第 1 及び第 2 情報を記録すると共に、前記レーザ光を前記

第1記録層に集光するように照射することで前記第1記録層に対して前記第1情報を書き込み、前記レーザ光を前記第2記録層に集光するように照射することで前記第2記録層に対して前記第2情報を書き込むための書込手段を備えた情報記録装置における情報記録方法であって、

前記第1記録層に対して、前記第1情報の一部として前記レーザ光の校正用の第1試し書き情報を試し書きし、前記第2記録層に対して、前記第2情報の一部として前記レーザ光の校正用の第2試し書き情報を試し書きするように前記書込手段を制御する試し書き制御工程と、

前記試し書き制御工程による前記第1及び第2試し書き情報の試し書き後に、(I)前記第1記録層に対して、前記第1試し書き情報に基づき校正された前記レーザ光によって、前記第1試し書き情報が試し書きされた領域より前記外周側に、前記第1情報の他の一部として第1記録情報を前記第1トラックパスに沿って記録し、(II)前記第2記録層に対して、前記第2試し書き情報に基づき校正された前記レーザ光によって、前記第2試し書き情報が試し書きされた領域より前記外周側に、前記第2情報の他の一部として第2記録情報を前記第2トラックパスに沿って記録するように前記書込手段を制御する記録制御工程と

を少なくとも備え、

前記試し書き制御工程は、前記第1試し書き領域と前記第2試し書き領域とが、前記情報記録媒体の法線方向から見て前記情報記録媒体の半径方向に相互にずらされた領域を使用するように前記書込手段を制御するか、又は、前記第1試し書き領域における少なくとも前記第1試し書き情報が書き込まれる領域部分と前記第2試し書き領域における少なくとも前記第2試し書き情報が書き込まれる領域部分とが、前記半径方向に相互にずらされた領域を使用するように前記書込手段を制御することを特徴とする情報記録方法。